

琵琶湖環境部

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【水政課】 琵琶湖総合保全対策費</p>	<p>97,710 (98,612)</p> <p>国 2,500</p> <p>－ 95,210</p>	<p>琵琶湖の総合保全の着実な推進に必要な調査・検討等を行うとともに、河川流域単位での取り組みの支援や、琵琶湖・淀川流域圏の再生に向けた取り組みなどを行う。</p> <p>1 琵琶湖を総合的に保全するための調査・検討 75,902</p> <p>(1) 琵琶湖総合保全施策の立案および推進のための調整・検討 14,002</p> <p>(2) 琵琶湖水質保全対策行動計画に関する調査・検討 5,000</p> <p>(3) マザーレイク21計画・持続的改善事業 1,800</p> <p>(4) 新たな琵琶湖の水環境保全のあり方検討事業 2,800</p> <p>(5) 内湖再生検討事業 39,000 マザーレイク21計画の自然的環境・景観保全分野では、湖辺域の自然生態系の保全を最も重要な施策として位置づけており、その具体的な取組として推進している旧早崎内湖の再生事業に必要な調査検討を実施する。</p> <p>(6) 赤野井湾流域水環境保全事業 6,000 琵琶湖の縮図ともいえる赤野井湾流域をモデル流域として、これまでの流入負荷削減対策をはじめとする水質保全対策の見直し・総点検を行うために当流域の水環境に係る総合的な調査を行う。</p> <p>(7) 琵琶湖小百科事典制作事業 7,300 関係機関が連携し、総合的に琵琶湖を紹介する事典の発行を行う。</p> <p>2 琵琶湖総合保全流域活動促進支援事業 5,046 各流域ごとに策定された「流域アジェンダ」を促進するとともに、「琵琶湖流域ネットワーク委員会」に対する支援を行う。</p> <p>3 琵琶湖淀川流域圏再生推進事業 8,992 琵琶湖淀川流域を自然と人が共生する活力ある流域圏として一体的に再生するという「琵琶湖淀川流域圏再生構想」の具体化のため、琵琶湖・淀川流域の実状に即した統合的流域管理の在り方とその実行を可能とする仕組みの検討・提案を行う。</p> <p>4 湖沼水質保全計画策定支援調査 2,500 環境省が委託事業として実施する「湖沼水質保全計画策定支援調査」を受託し、難分解性有機物の特性、動態等について検討し、水質保全施策の推進ならびに次期湖沼水質保全計画等の基礎資料とする。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
環境保全企画管理費	<p>65,427 74,004 (67,911)</p> <p>財 268</p> <p>繰上 7,000 0</p> <p>－ 58,159 73,733</p>	<p>琵琶湖を中心とした豊かな環境を保全し、将来の世代へ継承するため、先進的かつ総合的な取り組みを実施する。</p> <p style="text-align: right;">12,500</p> <p>新 1 持続可能な滋賀社会づくり構想推進事業 19,500</p> <p>県民、事業者、行政の明確な役割分担のもと、環境・経済・社会がバランスよく融合し、ともに発展する持続可能な社会を実現させるため、その推進方法や具体的な施策について総合的な検討を行う。</p>
試験研究費 (琵琶湖・環境科学研究センター)	<p>192,026 (193,533)</p> <p>財 1,016</p> <p>繰上 187,000 0</p> <p>諸 2,511</p> <p>－ 1,499 188,499</p>	<p>センター中期計画に基づき、琵琶湖と本県の環境を取り巻く課題の解決に向けて三つの重点分野を定め、行政ニーズ・社会ニーズを反映した試験研究を実施する。</p> <p>1 資源循環型社会の構築 5,762</p> <p>琵琶湖の水質保全施策や持続可能な社会形成の検討のための基礎データを整備し、資源循環型社会の原理・理念について研究を行い、また、資源循環型社会の構築を目指し県民とのパートナーシップを進めるため、県民参加型環境情報システムの構築に関する試験研究を推進する。</p> <p>2 琵琶湖と流域の水質・生態系の保全 98,595</p> <p>琵琶湖の総合保全を図るため、琵琶湖の流域管理のための分析システムの構築に取り組む。また、水質の監視・評価を行い、水質汚濁メカニズムの解析および効果的な水質保全対策の推進に関する試験研究ならびに生態系保全手法の構築に関する試験研究を推進する。</p> <p>3 環境リスクの低減 13,984</p> <p>環境中の有害化学物質の影響を把握することにより、健全な環境を確保するため、環境汚染の監視、微量化学物質に関する情報の収集・整備、化学物質による人の健康や生態系への悪影響のおそれ(環境リスク)の低減に関する試験研究を推進する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
調査・資料収集事業費（琵琶湖博物館）	<p>186,322 (199,247)</p> <p>使 105</p> <p>－ 186,217</p>	<p>琵琶湖とその集水域を対象とした、調査研究、知識や情報の収集、その成果の発信、博物館資料としての活用、水族資料の管理等を行う。</p> <p>1 研究調査の実施 34,714 琵琶湖の生成や琵琶湖と人々の関わりに関する研究、さらには展示に関する研究等を実施する。</p>
展示事業費（琵琶湖博物館）	<p>170,174 (174,956)</p> <p>使 160,174</p> <p>財 10,000</p>	<p>調査研究の成果や地域に根ざした身近な話題を材料とし、人と自然の関わり等について展示を行う。</p> <p>1 企画展の開催等 44,348</p> <p>(1) 企画展「(仮称)アジアの中の琵琶湖 湖辺」の開催 31,952</p> <p>(2) 水族企画展「(仮称)湖辺にすむ生き物たち」の開催 1,966</p> <p>(3) ギャラリー展「(仮称)あの生き物は、今...」、 4,627 「(仮称)企画展で振り返る琵琶湖博物館の10年のあゆみ」および「(仮称)第2回鉱物化石展」の開催</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【環境管理課】</p> <p>環境基本政策推進費</p>	<p>19,575</p> <p>20,175</p> <p>(25,990)</p> <p>19,575</p> <p>— 20,175</p>	<p>法令や環境基本条例等に基づき、土壌・地下水汚染対策を推進し、健全で質の高い環境の確保を目指す。</p> <p style="text-align: right;">6,850</p> <p>1 土壌・地下水対策推進事業 7,450</p> <p>(1) 地下水等汚染にかかるリスク評価・管理手法等検討調査 2,400</p> <p style="text-align: right;">3,000</p> <p>地下水汚染対策に必要なリスク評価、事業場における未然防止対策について検討する。</p> <p>(2) 地下水の状況把握のための地盤・地象環境情報データベースの作成 4,000</p> <p>地下水汚染の原因等を推定するため、県内のボーリング調査結果、土質柱状図、透水係数動水勾配などのデータベース化を進める。</p>
<p>水質保全対策費</p>	<p>101,321</p> <p>(87,912)</p> <p>43,000</p> <p>繰 0</p> <p>58,321</p> <p>— 101,321</p>	<p>琵琶湖の水質保全対策を推進し、健全な水環境の保全を目指す。</p> <p>新 1 湖沼水質保全計画策定事業 15,946</p> <p>湖沼水質保全特別措置法に基づき、第5期琵琶湖水質保全計画（平成18～22年度）を策定するため、生態系モデルを用いた水質シミュレーションにより、平成22年度の水質目標を明らかにし、必要な対策を検討する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【ITライフ推進課】</p> <p>環境学習推進費</p>	<p>29,115</p> <p>30,896</p> <p>(27,441)</p> <p>29,115</p> <p>- 30,896</p>	<p>「滋賀県環境学習の推進に関する条例」ならびに「滋賀県環境学習推進計画」に基づき、体系的・総合的な環境学習を推進する。</p> <p>1 環境学習支援事業 20,509</p> <p>(1) 環境学習支援センター運営事業 16,079</p> <p>県民等と県の支援施策・情報等をつなぐ窓口となる滋賀県環境学習支援センターを運営し、様々な環境学習の主体の取組の充実を支援する。</p> <p>(2) 環境学習人材育成・交流事業 930</p> <p>地域における環境学習や環境保全活動のリーダーを養成するとともに、環境学習を担う人や団体・学校などの取組の成果発表を通して交流を図り、ネットワークづくりを支援する。</p> <p>(3) 湖上環境学習推進事業 3,500</p> <p>琵琶湖上における環境に関する学習の機会を提供し、環境保全への県民意識の高揚を図る。</p> <p>8,606</p> <p>2 次世代育成環境学習推進事業 40,387</p> <p>(1) 幼児自然体験型環境学習推進事業 1,620</p> <p>幼児期からの効果的な環境学習の推進を図るため、地域の自然環境に合わせた幼児自然体験型環境学習プログラムの取り組みの拡大を図る。</p> <p>(2) エコ・スクール支援事業 695</p> <p>小中学校を対象に、児童生徒による身近な環境の調査研究、計画づくり、実行と評価といった基本プロセスを大切にした環境学習・保全活動である「エコ・スクール」活動を支援し普及を図る。</p> <p>2,670</p> <p>(3) こどもエコクラブ事業 4,454</p> <p>地域や学校で環境学習・環境保全活動を行う「こどもエコクラブ」の設置拡大と活性化に取り組み、県内のこどもエコクラブを「淡海こどもエコクラブ」として、市町等と連携しながら積極的な支援を行い、環境こだわり県にふさわしい活動の展開を目指す。</p> <p>(4) こども環境特派員事業 2,275</p> <p>琵琶湖や環境学習施設での学習や交流を通じてこども達の環境保全意識の高揚を図るとともに、滋賀県での取り組みを県内外に広く発信する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
環境保全県民運動推進費	<p>12,410 44,940 (11,910)</p> <p>12,410 - 44,940</p>	<p>快適な生活環境を確保するため、県民運動として展開されている水環境保全や環境美化の活動に対して支援する。</p> <p style="text-align: right;">3,730</p> <p>1 水環境を守る生活推進事業 3,230 びわ湖会議の活動支援</p> <p>2 環境美化活動推進事業 8,492 美しい湖国をつくる会の活動支援等</p>
新しい環境習慣推進費	<p>19,666 23,906 (19,027)</p> <p>財 822</p> <p>18,844 - 23,084</p>	<p>大量消費型の生活様式を見直し、環境に配慮した行動を実践し、それを生活習慣にまで高めた「新しい環境習慣」の確立を目指して、県民、NPO、事業者、行政がそれぞれの立場で積極的な取り組みを展開する。</p> <p style="text-align: right;">9,811</p> <p>1 新しい環境習慣推進事業 14,054</p> <p style="text-align: right;">5,760</p> <p>(1) CO₂ダイエット買い物大作戦推進事業 10,000 毎年10月に実施している「環境にやさしい買い物キャンペーン」をより拡充し、企業、県、市町をはじめ関係団体による店頭啓発を県内広範囲で実施する他、新聞、ラジオなどの媒体を活用し、県民総ぐるみの運動として県民に広く呼びかける。</p> <p style="text-align: right;">1,176</p> <p>(2) 環境配慮型企業活動の支援 1,176 県内企業を対象に環境マネジメント、環境会計、その他環境保全活動などの具体的な問題を解決するとともに、環境報告書の作成やエコアクション21の取組などを進めるため、セミナーや説明会等を開催する。</p> <p style="text-align: right;">1,593</p> <p>(3) 家族ISOプログラム普及推進事業 1,593</p> <p>2 滋賀グリーン購入ネットワーク推進事業 2,825 滋賀グリーン購入ネットワークの活動支援等</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
新エネルギー導入戦略推進費	64,817 87,517 (54,075)	滋賀県中期計画に基づく「しが新エネルギー導入戦略プラン」の着実な推進を目指して、戦略的・重点的な取り組みを進める。
緑	10,000 0	<p>1 県民協働による新エネルギー普及推進事業 1,386 「しが新エネルギー導入戦略プラン」の具体的な展開を図るため、県民、NPO、事業者、学識経験者、行政からなるプロジェクトにおいて検討を行いプランの着実な推進を図る。</p>
-	54,817 87,517	<p>2 太陽光発電設置促進滋賀モデル推進事業 34,347 太陽光発電施設の設置を促進するため、電気事業者と余剰電力を売電する契約を締結した個人に対し、その余剰電力量に対して一定額を助成する。</p>
		<p>3 新エネルギー導入しがモデル推進事業 3,480 (1) 県民協働発電施設設置事業 3,480 NPO等が広く県民から資金提供を得ながら太陽光発電施設を設置する場合や社会福祉法人など公益団体が太陽光発電施設を設置する場合に支援を行う。</p>
		<p>4 バイオディーゼル燃料利用推進事業 3,404 (1) 「湖国を走るバイオ燃料バス」パイロット・モデル事業 3,404 バイオ燃料利用を促進するため、民間路線バス等での実証的な利用に対して支援を行う。</p>
		<p>調査推進 4,800 新 5 「地域の魅力を生かした小水力発電」パイロット事業 23,100 滋賀のもつ特性を生かした小水力発電施設の導入を進め、滋賀モデルとして広く定着するよう、小水力発電施設の設置や県域への導入可能性を調査するパイロット事業に向けて、その可能性調査に取り組む。</p>
		<p>6 水素エネルギー産学官連携共同研究事業 10,000 新エネルギーを複合的に利用した琵琶湖北湖低酸素化改善システムと水素回収システムの基礎的研究開発を行う。</p>
		<p>新 7 ^{もり}森林のエネルギー地域循環トータル・システム調査事業 7,400 11,800 産学官連携により、木質バイオマスエネルギー利用における間伐材供給システムについて、機能性及複合的効果の精査等をおこない、持続的に発展可能なシステムになるための課題等を検証する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
地球温暖化対策推進費	<p>12,804 44,449 (13,311)</p> <p>12,804 - 44,449</p>	<p>県地球温暖化対策推進計画および県庁地球温暖化対策実行計画の着実な推進を目指して、地球温暖化対策を総合的に推進する。</p> <p>1 地球温暖化対策推進事業 7,314</p> <p>(1) 地球温暖化防止活動推進センター活動事業 3,228 滋賀県地球温暖化防止活動推進センターに、地球温暖化対策の諸事業を委託する。</p> <p>(2) エコカー普及促進事業(京滋広域連携推進協議会事業) 190 自動車に関する適切な環境情報を提供するエコカーマイスターを設置し、低公害車の普及を図る。</p> <p>(3) 地球温暖化対策普及啓発 819 アイドリングストップの普及啓発を行う。</p> <p>(4) 省エネ・お得ポイント事業補助金 2,172 滋賀県地球温暖化防止活動推進センターが実施する各家庭における温室効果ガス削減への取り組みに対し支援を行う。</p> <p>1,255</p> <p>新 2 新エネルギー・地球温暖化防止ムーブメント事業 2,900 滋賀県地球温暖化対策推進計画に基づき、県民、事業者、環境に関する各種団体、行政機関等が連携・協働して地球温暖化防止のため積極的な実践活動等を推進する。</p> <p>544</p> <p>(1) 地球温暖化対策地域推進会議の設立 1,500 地球温暖化対策地域推進会議の設立の経費</p> <p>711</p> <p>(2) フォーラムの開催 1,400 地球温暖化対策地域推進会議の設立を機にフォーラムを開催し、普及啓発を推進する。</p> <p>3 IS014001環境マネジメントシステム事業 4,235</p>
環境保全施策等整備対策費	<p>61,904 (76,922)</p> <p>諸 59,834</p> <p>- 2,070</p>	<p>公害防止の促進と地球環境保全対策等のための、中小企業者が行う設備の整備等に対し、必要な資金の貸付を行う。</p> <p>1 淡海環境創造資金貸付預託 49,699</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【資源循環推進課】</p> <p>循環型社会形成推進費</p>	<p>82,829</p> <p>94,204</p> <p>(74,874)</p> <p>財 2</p> <p>25,110</p> <p>20,304</p> <p>繰</p> <p>2,500</p> <p>3,500</p> <p>諸</p> <p>55,217</p> <p>67,404</p> <p>—</p>	<p>廃棄物の発生を抑制するとともに、発生した廃棄物については再利用するなど、廃棄物を資源として活用するための施策を推進する。</p> <p>70,785</p> <p>1 産業3R推進事業 57,425</p> <p>(1) 民間事業者有機性資源活用施設整備支援事業 10,068 民間事業者が行う産業廃棄物を有機資源として活用するための施設整備に対して補助する。</p> <p>1,562</p> <p>(2) 廃棄物の資源化仲人事業 4,962 民間の情報量やノウハウを活用した新しい資源化マッチングの窓口相談・アドバイス(資源化仲人)のできる県独自システムの検討を行う。</p> <p>3,657</p> <p>(3) 産業廃棄物資源有効活用検討事業 4,897 産業廃棄物3品目の減量化を図るため業界代表等で構成する検討会を設置し、実用化が可能な資源循環の手法・システム等の検討を行う。</p> <p>1,928</p> <p>(4) リサイクル製品認定事業 1,928 リサイクル製品認定制度により認定された製品を紹介するなど制度の普及促進を図る。</p> <p>9,068</p> <p>(5) 産業廃棄物減量化技術研究開発事業 9,068 排出事業者等が行う産業廃棄物の発生抑制や資源化の研究開発等に対し補助する。</p> <p>10,820</p> <p>2 地域循環推進事業 27,387</p> <p>7,320</p> <p>(1) 市町生ごみ資源化支援事業 9,000 市町が、生ごみを資源化するための計画策定やモデル的な取組みに対して支援する。</p> <p>3,500</p> <p>県南部地域生ごみ資源化システム検討事業 3,500</p> <p>(2) 生ごみ資源化地域システム検討事業 4,000 県南部地域をモデル地域とし、県、環境事業公社、関係5市で検討委員会を設置し、望ましい生ごみの資源化システムを検討する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		<p style="text-align: right;">1,090</p> <p>3 循環型社会啓発事業 6,258 県民、NPO、事業者等と3R活動についての連携・協働を行うなど、資源循環意識の高揚とごみの発生抑制、資源化についての啓発を行う。</p> <p>(1) 生ごみ活用チャレンジ事業 1,500 地域団体やNPO等が地域の特性に合わせて生ごみの資源化を行う取組みに対して支援する。</p> <p>(2) エコキッチン推進運動(生ごみ)事業 1,000 びわ湖会議が生ごみ問題について取り組み、意識改革の運動を実施することに対し補助する。 (エコライフ推進課の環境保全県民運動推進費の「1 水環境を守る生活推進事業」で実施)</p> <p>(3) 量販店連携3R推進事業 2,000 リユース、リデュース、リサイクルでの視点で、店頭拠点回収など量販店で可能な新たな取組について補助する等により県民に対してごみ減量化の意識啓発を推進する。</p> <p>(4) リユース推進事業 1,168 旅館、ホテル等での「使い捨てグッズ」の使用抑制・削減の調査検討、リターナブル瓶やマイカップが使用できる飲料用自動販売機の導入促進、リユース容器等の使用推進を図る。</p>
散在性ごみ対策事業費	<p style="text-align: center;">47,883 (43,314)</p> <p style="text-align: center;">- 47,883</p>	<p>「滋賀県ごみの散乱防止に関する条例」の趣旨徹底を図るとともに市町や関係機関と連携した散在性ごみ対策を実施する。</p> <p>1 淡海エコフオスター事業 17,295 道路、河川、湖岸等の公共的場所で美化清掃活動を行うボランティア団体に対し活動経費を支援する。</p>
環境事業公社等事業促進費	<p style="text-align: center;">1,279,165 1,279,172 (1,609,590)</p> <p>諸 358,855</p> <p>起 597,000 582,000</p> <p style="text-align: center;">323,310 - 338,317</p>	<p>公共関与による産業廃棄物処理施設の整備促進を図る。</p> <p>1 クリーンセンター滋賀設置事業 600,000 廃棄物処理センターとして環境大臣から指定を受けた環境事業公社が進める管理型最終処分場の施設整備に対し支援する。</p> <p>(1) 産業廃棄物処理センター施設整備費補助 300,000 (2) 周辺地域振興事業に対する支援 300,000</p> <p>2 クリーンセンター滋賀設置事業に係る搬入道路建設 350,000</p> <p>3 環境事業公社事業資金長期貸付金 15,000</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
廃棄物処理施設整備 促進事業費	112,372 (139,671)	<p>県一般廃棄物処理広域化計画に基づき、市町・一部事務組合が設置する廃棄物処理施設の広域化を促進するとともに、リサイクルの推進等により廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全を図る。</p> <p>1 廃棄物処理施設整備事業促進市町交付金 61,442 ごみ処理施設、リサイクルセンター、ストックヤードの整備に対し支援する。</p> <p>2 し尿処理施設NP除去高次処理施設維持管理費補助金 48,756 琵琶湖の富栄養化を防止するため、し尿処理施設での窒素、リン除去の高次処理に要する維持管理経費を補助する。</p>
	国 1,000	
	起 61,000 0	
	50,372	
	- 441,372	
生活排水対策事業費	81,527 84,734 (144,442)	<p>琵琶湖をはじめとする公共用水域の主な汚濁原因となっている生活排水に係る対策として、浄化槽の設置および適正な維持管理を推進する。</p> <p>1 生活排水対策事業 18,332 浄化槽の設置状況および維持管理の実態調査を行うとともに、法定検査の普及啓発を図る。 18,336</p> <p>2 浄化槽設置整備等事業 62,936 63,136</p> <p>(1) 浄化槽設置整備等事業費補助金 53,606 53,806 既設の単独処理浄化槽の撤去にかかる促進補助を追加。</p> <p>(2) 合併処理浄化槽維持管理事業費補助金 9,330</p>
	- 81,527 84,734	
産業廃棄物対策事業費	76,549 (67,274)	<p>産業廃棄物の適正処理を推進するため、排出事業者や処理業者に対する指導、監視等を行う。</p> <p>1 産業廃棄物最終処分場等周辺環境影響調査事業 14,070</p> <p>2 廃棄物処理アスベスト監視調査 2,678</p>
	使 39,657	
	- 36,892	

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
産業廃棄物不法投棄 防止対策費	<p>34,282 (35,872)</p> <p>繰 0</p> <p>23,991</p> <p>- 34,282</p>	<p>悪質、巧妙化する産業廃棄物の不適正事案に対して、迅速かつ厳正な対応を行い、県民の快適な生活環境を保全する。</p> <p>1 監視・通報システム事業 7,620 行政監視の強化とともに、監視通報ネットワークの地域への浸透や啓発を図る。</p> <p>2 地域協働原状回復事業 2,000 地域住民などの監視活動により不法投棄が発見されたものの、行為者などが不明で原状回復する見込みがない産業廃棄物について、一定の条件の下で、地域住民が主体となって原状回復する場合に県が支援する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【下水道計画課 下水道建設課】</p> <p>公共下水道促進事業費</p>	<p>254,759 (279,962)</p> <p>83,000 繰 0</p> <p>171,759 - 254,759</p>	<p>1 市町が実施する公共下水道事業等に対して助成を行う。</p> <p>(1) 公共下水道整備水洗化促進交付金 244,530 公共下水道整備事業、公共下水道高度化事業および水洗化促進事業を実施する市町に対して支援を行う。</p>
<p>処理区管理費</p>	<p>7,536,400 7,543,920 (7,630,385)</p> <p>6,589,366 分 6,678,445</p> <p>財 5,562</p> <p>936,068 繰 854,478</p> <p>5,404 諸 5,435</p>	<p>各処理区の下水道施設を維持管理することにより、琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質を保全し、かつ県民の快適な住環境を実現する。</p> <p>4,242,992 湖南中部処理区管理費 うち管理運営委託料(4,147,620)</p> <p>1,112,151 湖西処理区管理費 うち管理運営委託料(1,102,244)</p> <p>1,666,903 東北部処理区管理費 うち管理運営委託料(1,637,153)</p> <p>514,354 高島処理区管理費 うち管理運営委託料(435,313)</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明					
流域下水道建設事業費 国 6,993,000 分 2,803,365 線 49,365 諸 2,570 起 2,754,000		生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、「マザーレイク21計画」に基づき、流域下水道建設事業を推進する。					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事箇所</th> <th>箇所数</th> <th>見積額</th> </tr> </thead> </table>	工事箇所	箇所数	見積額		
		工事箇所	箇所数	見積額			
		湖南中部処理区 処理場 土木施設、機械電気設備工事 管 渠 管渠築造工事 (日野北幹線北脇工区ほか) ポンプ場 設備増設、改築更新工事	6工区	5,314,643			
		湖西処理区 処理場 水処理施設改築更新工事 ポンプ場 改築更新実施設計		119,273			
東北部処理区 処理場 水処理施設、汚泥溶融設備工事 耐震対策工事 管 渠 管渠築造工事 (彦根第二幹線河瀬工区ほか) ポンプ場 設備増設実施設計	4工区	6,350,391					
高島処理区 処理場 水処理施設工事、増設実施設計 管 渠 管渠築造工事 (高島東幹線四津川工区) ポンプ場 耐震対策工事	1工区	817,993					

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【林務緑政課・ 森林保全課】</p> <p>琵琶湖森林づくり事業費</p>	<p>800,000 (0)</p> <p>繰 400,000</p> <p>－ 400,000</p>	<p>琵琶湖森林づくり基本計画に基づき、琵琶湖森林づくり県民税充当事業として、環境に配慮を重視した森林づくりと県民協働による森林づくりを実施する。</p> <p>滋賀県</p> <p>新 1 (仮称)琵琶湖森林づくり基金積立金 400,000 琵琶湖森林づくり県民税充当事業の実施に必要な経費に充てるため、資金を積み立てる基金を造成する。</p> <p>新 2 陽光差し込む健康な森林づくり事業 132,600 間伐を促進するためのマップの作成や調査を行うとともに、針広混交林へ移行する環境林の整備を助成する。</p> <p>新 3 長寿の森奨励事業 10,000 手入れの行き届いた長伐期林に誘導するため、森林を適切に管理するための活動を支援する。</p> <p>新 4 森林を育む間伐材利用促進事業 39,000 資源循環と地球温暖化防止のため、間伐材の搬出を促進するとともに、間伐材製品等の利用拡大を図る。</p> <p>新 5 里山リニューアル事業 88,000 県民による里山の利活用を促進するため、市町が実施する里山の環境整備を助成する。</p> <p>新 6 協働の森づくりの啓発事業 18,000 琵琶湖森林づくり県民税の用途を説明するとともに県民の参加意識の高揚を図るため、森林づくりの大切さについて啓発する。</p> <p>新 7 みんなの森づくり活動支援事業 39,000 県民参加の里山づくりを支援するとともに、地域の人々が地域の森林づくりのあり方等を検討する組織作りを支援する。</p> <p>新 8 未来へつなぐ木の良さ体感事業 72,000 県民が木の良さを体感できる機会を提供することで、県産材を地域内で消費する地産地消の必要性を啓発する。</p> <p>新 9 森林環境学習「やまのこ」事業 1,400 小中学生等が森林体験を通して森林づくりへの理解を深めるよう、森林環境学習「やまのこ」事業実施に向けた仕組みを構築する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
森林病虫害等防除事業費	31,492 (24,595)	森林に被害を及ぼす病虫害を防除し、森林の公益的機能の維持、回復を図る。
	15,260	1 松くい虫被害対策 11,662
国	49,066	2 カシノナガキクイムシ対策 2,697
	16,232	3 野生鳥獣被害対策 12,945
-	42,426	シカ等による皮剥防止のためテープ巻きを実施する。
森林組合振興対策費	128,448 (90,855)	森林・林業の振興のため、その担い手である森林組合の育成強化とともに、新規就業者の育成など林業労働力の確保および労働災害の防止を図る。
	17,958	1 森林組合指導事業 1,125
国	48,414	中核組合実現のために行う活動等を支援する「森林組合改革プラン推進支援事業」を新たに実施する。
財	1,603	2 林業労働力対策事業 65,175
繰	45,000	林業従事者の作業環境を改善するとともに、間伐の促進を図るため、高性能林業機械を導入する。
諸	60,122	
-	3,765	
	48,309	
湖国のみどりづくり推進事業費	1,481 2,484 (2,243)	緑化基本構想および基本計画に基づき、緑化施策を推進する。
		新1 緑の少年団全国大会開催事業 1,000
国	435	第17回緑の少年団全国大会を本県で開催するための負担金を支出する。
	1,481	(琵琶湖森林づくり事業費の「6 協働の森づくりの啓発事業」で実施)
-	2,346	
造林公社運営費	374,254 (406,274)	(社)滋賀県造林公社および(財)びわ湖造林公社の運営に必要な管理経費と森林整備に要する経費を、出資金ないし出捐金として支出する。
		122,800
国	525	滋賀県造林公社出資金 430,200
	374,254	249,700
-	395,029	びわ湖造林公社出捐金 263,600

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明																								
林野公共事業	3,922,264 (4,656,729) 国 1,849,612 分 86,400 1,547,000 起 4,332,000 439,252 - 654,252	森林・林業関連の公共事業を実施する。 補助公共事業 <table border="1" data-bbox="646 450 1401 837"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>箇所数等</th> <th>見積額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助造林事業</td> <td>4,537 ha</td> <td>934,813</td> </tr> <tr> <td>補助林道事業</td> <td>11 路線</td> <td>471,527</td> </tr> <tr> <td>補助治山事業</td> <td>98 箇所</td> <td>2,227,394</td> </tr> </tbody> </table> 単独公共事業 <table border="1" data-bbox="646 913 1401 1301"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>箇所数等</th> <th>見積額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単独林道事業</td> <td>14 路線</td> <td>9,450</td> </tr> <tr> <td>ふるさと林道事業</td> <td>4 路線</td> <td>220,000</td> </tr> <tr> <td>単独治山事業</td> <td>38 箇所</td> <td>59,080</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	箇所数等	見積額	補助造林事業	4,537 ha	934,813	補助林道事業	11 路線	471,527	補助治山事業	98 箇所	2,227,394	事業名	箇所数等	見積額	単独林道事業	14 路線	9,450	ふるさと林道事業	4 路線	220,000	単独治山事業	38 箇所	59,080
事業名	箇所数等	見積額																								
補助造林事業	4,537 ha	934,813																								
補助林道事業	11 路線	471,527																								
補助治山事業	98 箇所	2,227,394																								
事業名	箇所数等	見積額																								
単独林道事業	14 路線	9,450																								
ふるさと林道事業	4 路線	220,000																								
単独治山事業	38 箇所	59,080																								

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
【自然環境保全課】	28,043	
自然環境保全推進費	36,740	国定公園に指定されている地域や条例で県立公園に指定されている貴重な自然環境の保全に努めるとともに、絶滅の危機に瀕している野生動植物の保護対策や外来種対策を推進し、滋賀の豊かな生物多様性の保全を図る。
	(13,035)	
	28,043	
	-	
	36,740	
		<p>1 淡海の自然環境を蘇らせる事業 1,000 カワウの繁殖抑制対策などの竹生島の植生復元対策や自然記念物の保全事業に対して助成する。</p>
		<p>2 野生生物保全対策事業 3,358</p>
		<p>(1) 野生生物生息状況調査 3,200 「滋賀県で大切にすべき野生動植物2005年版」(県版レッドデータブック)策定後の野生生物の生息・生育状況の変化についてモニタリング調査を継続的に実施する。</p>
		<p>3 生物多様性攪乱対策事業 243 国内外から侵入し、生態系や農林水産業等に係る被害を及ぼすおそれのある外来生物の効果的な防除対策を検討する。</p>
		<p>新 4 竹生島カワウ対策事業 7,050 樹木へのネット掛けによる営巣妨害、捕獲用巣台の設置による一斉捕獲の実施や竹生島景観保全対策協議会の運営に対して助成する。</p>
		<p>新 5 いきもののにぎわい復活プロジェクト 希少野生動植物の保護やその生息・生育環境の保護を図るとともに、外来種の防除対策を推進し、生物多様性の保全に向けた総合的な対策を推進する。</p>
		<p>1,700</p>
		<p>(1) 基本計画推進事業 2,512</p>
		<p>2,800</p>
		<p>(2) 希少野生生物保護推進事業 3,803</p>
		<p>1,300</p>
		<p>(3) 外来種対策推進事業 4,436</p>
		<p>3,300</p>
		<p>(4) 生物多様性に配慮した地域づくり推進事業 6,092</p>
		<p>・長期構想の策定等</p>
		<p>832</p>
		<p>(5) 生物多様性パートナーシップ推進事業 4,786</p>
		<p>・自然体験活動に関する環境配慮指針の策定</p>
		<p>希少野生動植物種調査監視指導員</p>
		<p>・いきもの調査・監視指導員</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
自然公園管理行政費	134,448	
	454,478	
	(136,137)	<p>国定公園や県立自然公園の園地や自然歩道などの適正な管理を行う。また、「琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例」施行後3年目の見直し措置を踏まえ、課題解決に取り組むとともに、新琵琶湖ルールを創造・定着させ、琵琶湖のレジャー利用の適正化を一層推進する。</p>
	使 18	
	29,000	1 琵琶湖レジャー利用適正化推進事業 25,943
	繰 0	琵琶湖ルールの点検・検討による成果と課題を踏まえ、琵琶湖のレジャー利用の適正化に取り組む。
	105,430	
	454,460	
	-	(1) プレジャーボートの航行規制 11,933
		湖岸周辺の住民の生活環境を騒音から保全するため、湖岸、湖上から航行規制水域の指導監視や取り締りを行う。
	・監視船運航	
	・プレジャーボート騒音調査	
	(2) 環境対策型エンジンへの転換 3,688	
	従来型2サイクルエンジンを環境対策型エンジンへの転換を行うため、環境対策型エンジンの普及状況調査や雑誌広告、シンポジウムを開催する。	
	・環境対策型エンジン普及状況調査	
	・雑誌広告、シンポジウム開催	
	(3) 外来魚のリリース禁止 10,322	
	「釣った外来魚をリリースしない」という新しい釣りのルールを定着させるため、回収ボックス、イケス、受取施設での回収を行う。	
	・外来魚回収イケス、受取施設からの回収	
	・外来魚回収ボックスからの回収	
	28,720	
新 2	新琵琶湖ルール定着・推進事業 47,950	
	新琵琶湖ルールの定着・推進を図り、琵琶湖のレジャー利用の適正化を一層推進する。	
	(1) 新琵琶湖ルールの普及・啓発等 1,500	
	・新琵琶湖ルール広報啓発事業 2,000	
	・みんなで広めよう琵琶湖ルールの輪事業 12,700	
	3,600	
	(2) プレジャーボートの航行規制の徹底 7,000	
	・航行規制水域重点地域対策事業	
	・利用環境整備検討事業	
	・プレジャーボート乗り入れ防止事業	

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		<p style="text-align: right;">8,120</p> <p>(3) 環境対策型エンジンへの着実な転換 24,550</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境対策型エンジン転換資金利子補給事業 ・環境対策型エンジン転換促進助成事業 ・琵琶湖ルール適合艇確認・シール貼付事業 <p>(4) 外来魚のリリース禁止の拡充 1,500</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川等におけるノーリリース推進事業 4,700 1,300 <p>(5) 迷惑行為の防止 3,000</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域がつくるローカルルール支援事業
<p>自然公園施設整備 事業費</p>	<p style="text-align: center;">29,425 (23,102)</p> <p>国 16,290</p> <p>— 13,135</p>	<p>国定公園や県立自然公園の適正な利用増進を図るための施設整備を行う。</p> <p>1 自然公園施設等整備事業費 29,425</p> <p>(1) 伊吹山地域登山歩道整備事業補助金 14,800 伊吹山登山道の老朽化した避難小屋を改築する事業に対して助成する。 ・米原市</p> <p>(2) 伊吹山頂歩道整備事業 5,000 伊吹山頂歩道の荒廃が著しいため再整備し、安全確保・快適化を図る。</p> <p>(3) 東海自然歩道整備事業 9,000 昭和48年までに整備された階段の老朽化や路肩の崩壊等が進んでいるため再整備する。</p> <p>(4) ネイチャー・サポート活動支援事業 625 自然公園内の管理の一部を一般県民のボランティア活動により実施し、その活動について支援する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
鳥獣対策費	38,195 47,478 (14,531)	有害鳥獣対策を総合的に推進し、農林水産業被害等の軽減を図ることにより、野生鳥獣との共生を図る。
	-	<p>1 ニホンザル特定鳥獣保護管理計画推進事業 205 平成14年度に策定されたニホンザル保護管理計画の見直しを行う。</p> <p>2 ツキノワグマ特定鳥獣保護管理計画策定事業 4,993 ツキノワグマ特定鳥獣保護管理計画策定に向けて、前年度までの調査の結果を踏まえ、引き続き生息状況調査を行うとともに、その結果について、保護管理計画検討委員会で評価検討を行う。</p> <p>3 カワウ生態調整事業 1,500 カワウの繁殖率や行動範囲に関する生態調査を行い、今後の被害対策手法の検討材料とする。</p> <p>2,000 新 4 カワウ総合対策推進事業 3,000 2,000 (1) カワウ総合対策計画策定 2,980 近畿・中部カワウ広域対策協議会準備会での協議結果を踏まえ、府県レベルでのカワウ対策の総合的な計画を作成する。 24,950 新 5 獣害対策推進プロジェクト 33,424 近年、サル、シカ等のいわゆる有害獣による農林業被害等が深刻化しつつあり、農林業等にとって深刻な阻害要因となるとともに地域振興の大きな妨げとなっている。このため、地域ぐるみの対策の充実・強化を図り、農林業被害等の軽減を通じて、人と野生動物との共生の実現を目指す。</p> <p>850 (1) 地域協議会支援事業 3,517 2,600 (2) 人づくり推進事業 3,196 ・獣害対策推進者の育成 ・有害鳥獣捕獲等従事者の技能向上</p> <p>(3) 獣害対策情報共有事業 300 ・特定鳥獣保護管理計画の普及啓発</p> <p>16,000 (4) ニホンジカ広域一斉防除推進事業 20,000 5,200 (5) P D C A 徹底事業 6,411 ・有害獣に関するモニタリング調査 ・点検検討委員会の開催</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
県土修景保全対策事業費	6,110 (5,806)	<p>景観法に基づく景観計画を策定するための調査を行い、その案を作成する。</p> <p>1 景観形成推進調整 3,000 (1) 景観計画の策定調査 3,000 景観法に基づく新たな項目（景観重要建造物、景観重要樹木、景観整備機構等）の実態調査を行うとともに、その活用についての検討を行い、景観計画を策定する基礎資料とする。</p>
ヨシ群落保全事業費	57,865 (57,876)	<p>琵琶湖のヨシ群落がもつ多様な機能が健全な形で発揮されるよう、ヨシ群落保全条例および新たなヨシ群落保全基本計画に基づき、適切な保全策を講じる。</p> <p>国 18,900 1 ヨシ群落保全管理事業 57,200 38,000 (1) ヨシ群落造成事業 42,000 線 0 ヨシ群落の保全目標を達成するため、びわ町および湖北町においてヨシ群落の自然再生事業を実施する。 965 (2) ヨシ群落維持管理事業 15,000 - 38,965 ヨシ等の刈り取りやヨシ群落の清掃を行い、良好なヨシ群落として存続を図る。</p>
水草刈取事業費	79,404 (70,404)	<p>夏季に琵琶湖に繁茂し生活環境や景観、また船舶航行に悪影響を及ぼす水草の刈取事業を実施するとともに、刈り取った水草の有効活用による資源循環システムの構築について、調査を行う。</p> <p>財 15,127 1 水草刈取事業 78,800 59,000 (1) 水草の刈り取り（琵琶湖、西の湖） 74,200 線 0 (2) 水草資源循環システム調査 1,000 5,277 - 64,227</p>

